

平成17年第3回北秋田市議会定例会行政報告

第3回（6月）議会定例会が開催されるにあたり、3月22日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部関係

3月22日、鷹巣町、合川町、森吉町及び阿仁町の合併により北秋田市が誕生し、午前8時から本庁舎前において国、県、旧町の三役、町議会議員、市民の代表者およそ400名を迎え、開庁式が挙行されました。また、3支所においては、それぞれ開所式を行い、新制北秋田市がスタートいたしました。

5月1日現在の職員数は、市長部局394名、各行政委員会129名、公営企業44名、消防本部97名、合計664名となっております。

5月20日、31日、北秋田市特別職報酬等審議会（会長 今野 實氏）が開催され、新市の特別職の報酬等の額について審議がなされました。審議会は、「市長外三役及び議長、副議長については現行報酬額で、また議会議員については在任特例期間中は旧町の報酬額で対応し、来春の選挙後に再度審議すべき」として市長に答申しました。

税務課関係については、軽自動車税の当初課税状況は、課税台数15,935台、課税額65,269千円、また、固定資産税の当初課税状況は、納税義務者数17,798人、課税額は1,609,942千円となっております。

企画部関係

〈総合政策課〉

新市発足後、各行政施策は合併協議会からの調整項目に基づき着々と推進しております。過疎地域と都市との交流や自立的な地域社会の構築を目指した、旧鷹巣町を含めた新市過疎地域自立促進計画並びに辺地総合整備計画は県との協議を終え、本定例会に提案しております。

また、昨年度内陸線存続の可能性を探る最後の機会として、秋田内陸沿線地域交通懇話会が提議した再生計画の策定に向けて、県、沿線市町村、会社側と協議を進めております。

今回で19回目を迎える、東京圏あに会が、5月29日東京上野で会員等120名が出席し開催されました。阿仁の山菜などふるさとの味特産品販売コーナーも賑わいを見せて

いました。

〈財政課〉

新市発足に伴い、平成16年度北秋田市一般会計暫定予算及び平成16年度北秋田市国民健康保険特別会計他18件を専決処分し、また、平成16年度北秋田市一般会計暫定補正予算、平成17年度北秋田市一般会計暫定予算及び平成17年度北秋田市国民健康保険特別会計暫定予算他18件をそれぞれ専決処分し、臨時会において承認を受け、市民サービスに支障がないよう予算の執行に努めております。

3月22日以降5月31日までの各部等の工事発注（5百万円以上）に伴う主な契約の状況は別紙のとおりです。

〈広報情報課〉

市広報「きたあきた」は、月2回発行し市民の皆様にきめ細かい行政情報と生活情報の提供に努めております。また、インターネットにより、圏域のみならず全国にホームページを通じて最新の情報発信を行っており、一層の内容の充実を図ってまいります。

さらに、個人情報の保護に関する法律の施行に伴い、関係条例・規則等を基に、個人情報保護審議会など推進体制の整備を進めております。

今秋、5年に一度の国勢調査が実施されることから、調査事務の万全を期すため、実施本部の設置や調査員の確保など事前作業に着手いたしました。

〈電算システム課〉

合併に伴う電算システム統合事業として、住民情報系システムは、住民記録・市民税・介護保険・選挙・福祉を処理しており、内部情報系システムは、財務会計・人事・給与・文書管理を処理しておりますが、システム稼動と併せ業者従業員が常駐し、作業スケジュールに従い対応しております。

また、不慣れによる軽微な誤操作も見られることから、システム研修会を重ね練度を高めてまいります。さらに、個人情報の管理取り扱いについては、データの流失防止など、特に注意を喚起し徹底を図っております。

工事等発注一覧表

※ 500 万円以上 (消費税含む)

平成17年3月22日 ～ 平成17年5月31日

工 事 名 (業 務 名)	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
固定資産路線価鑑定評価業務委託	H17.5.23	6,300	シンコウ補償(株)
総務部 1件		6,300	
家庭ごみ収集運搬業務委託	H17.4.1	62,559	(有)ビルド・ミヤノ
公共施設ごみ収集運搬業務委託	H17.4.1	6,048	(有)成田工業
グリーンサイクルセンター焼却炉運転管理業務	H17.4.1	7,539	東北ビル管財(株)
市民生活部 3件		76,146	
浄化センター維持管理業務委託	H17.4.1	29,925	山岡工業(株)
面整備工事(阿仁合処理区 その1)	H17.5.20	7,823	古河林業緑化(株)
面整備工事(阿仁合処理区 その2)	H17.5.20	9,545	古河林業緑化(株)
公共下水道(米内沢処理区)管渠詳細設計業務委託	H17.5.23	8,610	三井共同建設コンサルタント(株)
都市公園災害復旧工事	H17.5.23	12,915	(株)大川建設
建設部 5件		68,818	
合川高齢者生活支援施設管理運営業務委託	H17.4.1	15,074	秋田県民生協会
北秋田市立児童館管理運営業務委託	H17.4.1	19,625	北秋田市社会福祉協議会
北秋田市軽費老人ホーム(A型)管理運営業務委託	H17.4.1	10,669	秋田県民生協会
阿仁養護老人ホームもろび苑管理運営業務委託	H17.4.1	9,894	北秋田市社会福祉協議会
北秋田市食の自立支援事業委託	H17.4.1	12,014	(財)たかのす福祉公社
福祉事務所 5件		67,276	
長期山村留学企画指導業務委託	H17.4.1	7,908	(財)育てる会
遠距離通学生徒輸送業務委託	H17.4.1	19,890	秋北バス(株)
教育委員会 2件		27,798	
北秋田市鷹巣斎場火葬等業務委託	H17.4.1	5,985	東北ビル管財(株)
道路災害復旧工事(16 災第 312 号)	H17.5.20	6,269	(有)長岐建設
市道岩脇～大野岱線 鷹巣支所 2件		12,254	
森吉統合簡易水道事業実施設計業務委託	H17.5.20	5,775	(株)三木設計事務所
森吉支所 1件		5,775	
合川統合簡易水道事業実施設計業務委託	H17.5.20	5,565	(株)三木設計事務所
合川支所 1件		5,565	
大阿仁保育園外構工事	H17.5.25	12,758	(有)鈴謙
平成17年度 ゴミ処理業務委託	H17.4.1	15,196	阿仁集塵回収事業所
阿仁支所 2件		27,954	
合 計 22 件		297,886	

福祉事務所関係

〈福祉課〉

「地域福祉」

3月22日、北秋田市誕生に伴い福祉事務所が設置されました。

5月24日、鷹巣、合川、森吉、及び阿仁民生委員児童委員協議会による連合組織、北秋田市民生委員児童委員協議会が設立されました。

「生活保護」

福祉事務所の設置に伴い、県から生活保護事務が移管されました。移管された保護世帯数・人員は、325世帯428人（鷹巣214世帯・289人、合川43世帯・49人、森吉37世帯・40人、阿仁31世帯・50人）となっております。

「障害福祉」

旧鷹巣町のみが実施していた「障害者バス乗車券交付事業」を廃止し、新たにバス路線のない地域でもタクシーが利用できる「福祉タクシー事業」を始めるとともに、旧阿仁町のみ「外出支援サービス事業」、旧鷹巣町のみ「酸素濃縮器利用者電気料助成事業」を市の共通事業として行っております。

心身に障害のある就学前の児童を対象として開設している障害児通園施設は、もろびこども園に18人（旧鷹巣町）、サポートハウス杉の子園に10人（旧森吉町6人、旧合川町4人）が通園しております。

福祉事務所の設置に伴い、県から特別障害者手当等支給に関する事務が移管されました。3月末の支援費支給決定者は、居宅支援が81人、施設支援が159人となっております。

「児童福祉」

保育所の入所状況は、本年5月1日現在で市立保育所7園で560人（定員695人）、私立保育所は、4園で368人（定員350人）で計928人となり、前年度に比べ公立で30人の減、私立で3人の増となっております。また、へき地保育所は2園で22人（定員75人）で前年度に比べ2人の減となっており、本市においても少子化の影響が出ていることから、今後定員等の見直しが必要と考えております。なお、県単独事業のすこやか子育て支援事業（保育料免除）の対象児童は4月1日現在208人となっておりますが、県では子育てに関する経済的支援の見直しを行い、第3子以降及び第1子0歳児のみを対象とする本事業を、1歳以降の幼児を対象とする支援の拡大並びに0歳児を対象とした乳児養育支援金（仮称）の創設など本年8月1日からの施行に向け準備を進めております。

子育てサポートハウス「わんぱあく」については、在宅で子育てしている親子の交流や一時的な託児、各種子育て相談やミニ講習会などの開催の場として、広く活用されており

ます。

また、16年度からは病後児保育を開設し、病気回復期の児童の利用に供しております。

昨年度の利用実績は、親子の交流で1日平均19人、一時的な託児で1日平均3人、各種相談件数は年間88件、病後児保育は21人の利用となっており、今後とも施設利用者の拡大推進に努めてまいります。

学童保育については、本年度から鷹巣地域で4つの学童クラブ（4学区）を新に開設、阿仁地域では、本年度から取り組みがなされ2つの学童クラブが誕生し、就労家庭への支援の輪が市全体に広がり、本年5月1日現在の学童クラブの利用状況は、鷹巣地域で6学童クラブ・157人の加入、合川地域で4学童クラブ・90人加入、森吉地域で2学童クラブ・101人加入、阿仁地域で2学童クラブ・15人加入となっております。

ひとり親家庭への経済的支援の一環として本年度から、ひとり親家庭就学祝金交付事業（市単独事業）が実施され、対象保護者の申請に基づき、小学校入学児童31人及び中学校入学児童28人に各1万円の祝金が給付されました。

大阿仁保育園改築工事については、本工事が5月末で完成し、今後は外構工事や大型遊具の設置、カーテン等の設置工事を経て7月末日の完成を目指しております。新園舎の開所については、当初より1ヵ月遅れの8月1日を予定しております。

〈高齢者支援課〉

「高齢福祉」

在宅福祉サービスの利用申請者は、外出支援サービス216人、食の自立支援157人、家族介護用品支給57人、生きがい活動支援通所16人、生活管理指導員派遣2人となっております。

「介護保険」

4月5日、市としての介護認定審査会を組織し、委嘱状交付と審査委員の全体会を開催いたしました。委員は、医療・保健・福祉の分野から30人、1合議体あたり5人の委員で、鷹巣地区3合議体、合川、森吉、及び阿仁地区に各1合議体を配置して認定審査を実施しております。

なお、3月末の認定者総数は、2,370人となっております。

市民生活部関係

〈生活環境課〉

4月7日からの降雨が融雪を誘発し、米代川、阿仁川が警戒水位を超え、宅地田畑等の冠水300.4ha、通行止市道7箇所の被害を受けました。幸い天候の早期回復と水防団等の迅速な対応により、人や家屋への被害はありませんでした。また、4月15日には阿仁伏影地内において融雪による土砂崩れが発生したため、防災無線により警戒を呼びかけるとともに、巡回パトロールや関係施設への周知により下流地域や観光客等への注意喚起に努めております。

北秋田市の発足により、交通指導隊員49名、防犯指導隊員45名を新たに委嘱し、それぞれ活動を開始しております。4月6日から15日までの「春の全国交通安全運動」にあたり、本庁舎前駐車場と森吉支所前を会場に、関係機関、団体など約320人が参加し合同出発式、決起集会を開催、市民への交通安全の啓蒙と意識高揚を図りました。

春のクリーンアップは、4月10日から24日の3週にわたり各地域毎に実施いたしました。市民など延べ約9,800人が地域の環境美化に取り組み、回収処理したゴミの量は約60t、側溝の汚泥は約58tとなっております。

広域市町村圏組合から継承したクリーンリサイクルセンターの平成16年度ごみ搬入実績は、約12,216t（うち北秋田市分は92%約11,289t）で、ほぼ前年度並み（約12,220t、うち北秋田市分約11,260t）ですが、北秋田市分では約29tの増加となっております。

〈医療推進課〉

新病院建設に向けた基本構想作成の業務委託契約を6月9日に締結し、発注いたしました。基本構想の完成、成果品納入は8月末日を予定しております。引き続き、この後の基本設計作成に向け、鋭意作業を進めて参ります。

〈阿仁病院〉

事業収益の平成16年度決算見込みは、外来患者減と外来平均単の価減により単年度で54,000千円の損失見込みとなっております。

15年度に実施した病床削減について県では、「削減後5年間は削減した病床数を有するものとして普通交付税を算定し、不採算地区病院の指定も継続される」とのことですので、経営の健全化に向けて今後なお一層努力して参ります。

〈国保合川診療所〉

平成16年度の外来利用患者、外来収入とも減少（前年対比△10.5%、△0.4%）しております。往診、訪問診療、訪問看護、老人施設等と連携を図りながら、地域住民の

健康を守るとともに安定した経営回復に向け懸命に努力いたしております。

〈保険課〉

国民健康保険事業は、平成17年4月1日現在の加入世帯数8,593世帯(57.7%)、加入被保険者数16,260人(39.8%)、一般13,060人、退職3,200人となっております。

このうち、70歳以上75歳未満の前期高齢者数は1,179人(一般580人、退職599人)となっております。

また、老人医療受給者証の交付は8,285人(20.3%)となっております。

子育て支援として4月から市域全体で実施している乳幼児福祉医療(市単独事業)は、4月末の受給者数が333人で、小中学校児童を対象とした児童福祉医療事業(市単独事業)も4月から実施しております。

〈保健センター〉

成人検診については、集団検診方式、医療機関個別方式、市民ドック方式の3方式での取り組みとなりましたが、既に森吉地区の集団検診が4月7日から実施されており、各地区においても順次実施の予定となっております。

献血事業については、年間実施計画のもとに4月から実施されております。

母子保健活動の推進については、母性及び乳幼児の健康の保持増進を図るため、新たに市内小学校区毎に15名の保健推進員を委嘱し、各地区でスタートしております。

また、各自治会から推薦された保健協力員についても、6月中に全地区委嘱する計画であります。

〈市民課〉

3月末日現在の新市の住民登録者数は40,789人で、その内訳は、男19,313人女21,476人、世帯数は14,835世帯となっております。

産業部関係

〈商工観光課〉

第54回桜まつりが4月23日から5月5日まで鷹巣中央公園を会場に開催されました。期間中の観客数は、桜の開花時期がゴールデンウィーク期間と重なったことから、前年比6,000人増の15,000人の見物客で賑わいました。

ゴールデンウィーク期間中の熊牧場、遊遊ガーデンの入場者数は、角館の開花時期と重なったことから、前年比1,723人減の8,287人となっております。

冬期間に損傷した竜ヶ森登山道へのアクセス林道、寒沢・仙戸石林道の維持工事は5月23日から着手しております。

平成17年4月末までの中小企業振興資金の利用状況については、融資件数3件、融資残高13,967千円となっております。

〈農 林 課〉

水稻については、19年来の大雪の影響による農作業の遅れが懸念されましたが、耕起・代掻き作業は順調に進み、田植は3～7日程度の遅れとなりました。

田植後は、風による代枯れが若干見受けられましたが、比較的好天に恵まれ順調な生育状況となっております。

生産調整については、「米政策改革大綱」に基づき、平成22年度を目標年次に今後の水田農業の振興方向等を明らかにするための「地域水田農業ビジョン」が策定されており、それに基づき農業者・関係機関が一体となった取り組みを進めております。

今年度配分された生産目標数量は1万9,907t（鷹巣地区1万875t・合川地区4,989t・森吉地区2,870t・阿仁地区1,173t）で、水稻作付目標面積は3,682ha（鷹巣地区1,970ha・合川地区915ha・森吉地区544ha・阿仁地区253ha）となっております。

野菜や葉たばこ等の畑作の状況については、ほぼ順調に生育しており、アスパラガスは前年比9%増の7.2haとなっております。今後は関係機関と連携のうえ、天候に注意するとともに病虫害等の発生防止に努め、対策について時期を失しないよう対応してまいります。

新規就農者等の確保・育成については、昨年に引き続きフロンティア農業者育成事業を活用し秋田県農業試験場に1名、今年度から果樹試験場で1名がそれぞれ研修を重ねております。今後も研修で得た知識・技術を活用し、将来の北秋田市農業の担い手となるべく人材の育成に努めてまいります。

市営牧場への牛の放牧については、それぞれの牧場において畜産農家及び関係者による年間の安全運営を祈願する放牧式を行い、5月9日の鷹巣牧場から順次放牧し6月5日の高津森牧場で無事終了しております。

比内地鶏の計画飼養羽数は、11万5,850羽（前年度比10%増）となっており、昨年度設置した素雛施設の有効活用を図ってまいります。

誘致企業であります有限会社森吉牧場の安全地鎮祭が4月23日、惣内滝ノ上地内の建

設予定地で行われました。建設工事が順調に進み、一日も早く本格操業できるよう期待するものであります。

5月28日「植えようよ 大地に緑 天たかく」をテーマに、第56回秋田県植樹祭が大館能代空港周辺ふれあい緑地広場を会場に開催され、1,500名の関係者がアジサイ、ドウダンツツジなど23の樹種約1,100本を植樹しました。当日は、天候にも恵まれ参加者は、環境保護の重要性や、森林が地球環境に与える様々な恵みについて、植樹を通じて学びました。

災害復旧事業については、農業施設災害復旧工事1件（高津森地区牧道崩落 W=4m L=16m）・林業施設災害復旧工事2件（寄延沢線 W=4m L=29m ・ 倉ノ沢線 W=3m L=23m）を発注しております。

建設部関係

〈都市計画課〉

都市公園事業では、去年の台風21号で出水被災した米代川河川緑地について、公共土木施設災害復旧工事の繰越明許工事として5月下旬に発注し、8月上旬の工期内完成を目指して進めております。

「道の駅たかのす」に隣接する「北秋田市ドリームワールド」は、冬季間 閉鎖しておりましたが、雪解けを待って4月2日にオープンし、ゴールデンウィーク期間中（4/29～5/8）には 延べ3,600人の入園者で賑わいました。

都市計画街路事業は、鷹巣都市計画道路・太田川口線の未整備区間のうち、北秋田地域振興局前と、鷹巣・元町地内間の延長410mについて、事業化に向けての測量・調査設計業務を発注すべく作業を進めております。

〈道路河川課〉

16年度の除排雪事業については、例年になく降雪量が多かったことから、大幅な経費の増となっております。また、豪雪に伴う融雪災害も発生しており、道路5箇所、河川5箇所、計10箇所で82,500千円の被害が見込まれております。

工事の発注状況は、鷹巣支所で舗装維持工事1件、16年災害の道路・河川災害復旧工事4件、森吉支所2件、阿仁支所6件となっております。また、繰越事業の湯口内線道路改良工事は、橋台工が4月28日に完成し、橋桁製作工は6月30日完成予定で、進捗状況は85%となっております。

森吉山ダム建設工事が順調に進捗しており、今年度142億円の予算でいよいよ堤体盛

り立て工事が本格化することから、去る6月4日に国土交通省主催の定礎式典及び森吉山ダム建設促進同盟会による祝賀会が、国会議員をはじめ関係省庁、地権者など約350人が出席し盛大に開催されました。

〈下水道課〉

公共下水道事業のうち鷹巣処理区においては、昨年度完了した愛宕下、伊勢町など11.86haについて供用開始の告示を行ない下水道加入への啓発に努めております。

また、今年度予定している、あけぼの町地域27.9haの面整備工事については、町内会への工事説明会を終え、発注の準備をしております。

合川処理区においては、17年度の早期供用開始に向けて、川井・合川駅前・松ヶ丘における管渠布設工事4件とマンホールポンプ設置工事1件を繰越工事として3月中旬に発注し、管渠工事1件については5月末に完成、他の4件については8月下旬の工期内完成を目指して進めております。

米内沢処理区については、日栄地区13.1haの面整備工事が3月10日に完成しております。また、17年度の整備予定地区の長野岱地区4.7haの面整備工事のために、地質調査、管渠詳細設計を5月下旬に発注しております。

阿仁処理区については、17年度事業として面整備工事2件(阿仁吉田・阿仁水無地内)を5月下旬に発注し、工期内完成を目指して進めております。

農業集落排水事業の坊沢地区・西地区については、今年度が事業の最終年度となることから、昨年度事業の合川南地区(機能強化)とともに早期完了を目指し発注準備を進めております。

水 道 課

上水道事業については水道週間に伴い、6月6日から10日までの5日間、夜間における洗管作業を実施しております。これは配水管に付着している水垢等の洗浄作業により利用者の皆様に清涼な水道水を提供できるよう万全を期すためのものです。

簡易水道については、合川・森吉地区統合簡易水道施設整備事業の送配水管布設工事、阿仁打当簡水基幹改良工事の実施設計業務に取り組んでおります。

なお、工事の発注は7月～8月を予定しております。

消防本部関係

平成16年中の火災件数は30件で、前年比4件の増加となっており、火災種別では建物火災17件、林野火災4件、車両火災2件、その他7件となっております。

救急出動は1,294件で前年比54件の増加となっており、急病が前年比39件増の816件、転院搬送が同11件減の128件、交通事故が同35件増の165件、一般負傷が9件減の131件となっております。また、総搬送人員は1,242名となっております。

本年1月から8件の火災が発生し、新市発足後は4件発生、内訳は建物火災1件、原野火災2件、その他の火災1件となっております。

また、救急件数は511件の出動で、新市発足後209件の出動があり、内訳は急病が150件、交通事故が16件などとなっております。

搜索出動は本年1月から3件発生し、新市発足後は2件発生いたしました。搜索日数はそれぞれ1日と2日となっており、双方とも死亡で発見されております。

研修関係については、救急救命士国家試験に2名が合格し、現在病院実習中のほか、4月からは1名が東京研修所で国家試験に向け研修中であります。また、4月に採用いたしました3名の消防吏員は秋田県消防学校に入校し初任教育中であります。

消防団関係では、3月22日新市発足に伴い団長、副団長、支団長への辞令を市役所で交付いたしました。

春の火災予防運動の初日には、各支団ごとに放水訓練、消防車による予防広報パレード、小型ポンプ等機械器具の点検を実施しております。

教育委員会関係

<総務課>

長期山村留学「まとび学園」は13期目となり、今年度の入園生は男子3名、女子1名の計4名となっております。4月から受入農家2戸の協力のもと、留学生として合川南小学校、農家、まとび学園、地域において様々な体験や交流を通じ意欲的に学習に励んでおります。その姿が地域の子ども達にとっても刺激となり、農村のすばらしさを再認識するという効果も見られます。

夏の短期事業等の実施により、長期事業に結び付けるように努力すると共に、インターネット、新聞報道、説明会の開催等を通じて山村留学生の確保に努めてまいりたいと考えております。

<義務教育課>

新市となり、初の平成17年度市立小中学校（幼稚園）入学（園）式が、4月5日、6日に挙行されました。

今年度は、幼稚園20人、小学校305人、中学校357人の新入生を迎えておりますが、これにより5月1日現在の小学校（16校）の児童数は1,938人、中学校（5校）の生徒数は1,079人で、学級数では小学校が108学級、中学校が41学級となっております。

これまでの旧町単位の教育センター及び教育研究所が、合併と同時に北秋田市教育センターに統合され、教育に関する調査研究、教職員の各種研究活動の拠点としてスタートいたしました。

<高校教育課>

4月6日、平成17年度北秋田市立合川高等学校の入学式が挙行されました。今年度の新入生は、普通科34人、情報ビジネス科34人、介護福祉科31人の99人で、これによる5月1日現在の生徒数は、2年生93人・3年生54人を含め計246名、科別ではそれぞれ、普通科93人、情報ビジネス科72人、介護福祉科81人となっております。

また、5月1日現在の寄宿舍入寮者数は男子（清心寮）39人、女子（心和寮）48人の合計87人となっております。寮生が健全で安全・安心な寮生活ができるように努めてまいります。

<生涯学習課>

4月25日、国指定史跡となっている伊勢堂岱遺跡と国土交通省森吉山ダム工事事務所の遺跡調査委託による橋場岱A遺跡の平成17年度現地調査が再開されました。伊勢堂岱遺跡では、4月29日から遺跡を一般公開し、平日は担当学芸員が、また休日には伊勢堂岱遺跡ワーキンググループのガイドボランティアが見学者に対応しております。

高齢者を対象とした生涯学習の一環として、4月26日の森吉前田地区「寿大学」の開講式を皮切りに、合川地区「ことぶき大学」、鷹巣地区「高鷹大学」、森吉地区「老壮婦人大学」、阿仁地区「生き生き大学」のそれぞれの入学・開講式が開催され、併せて約750名の受講生のカレッジライフがスタートいたしました。

<中央公民館>

平成17年度の公民館定期講座は、11館で49の講座を企画、受講希望者は838人となっております。

5月18日には阿仁公民館の「ふるさと文化学園」、26日には中央公民館と鷹巣地区公民館の定期講座合同の開講式がそれぞれ行われ、1年間の学習への意欲を新たにしました。

＜スポーツ振興課＞

第43回河田杯マラソン大会が4月23日開催され、市内小・中学生はもとより、県内外の児童生徒、一般参加者（学生194名・一般41名）併せて235名が春空のもと健脚を競い合いました。県内のマラソン大会は、河田杯マラソン大会を皮切りに始まり、参加選手はそれぞれシーズン始めの力を確かめるかのような走りで、応援にも熱の入る大会となりました。

5月23日、2005北緯40°秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソン大会全体実行委員会が開催され、9月25日の大会当日の実施体制について協議いたしました。

北秋田市事務局としては、大会の成功に向け実行委員会と連絡を密に協力していく事を確認しております。

北秋田市体育指導委員辞令交付式が5月25日、中央公民館において行われ、市内56名の体育指導委員に辞令を交付いたしました。北秋田市のスポーツの振興、また地域の体育行事等に携わりながら、市民の健康と体力作りのための活動が期待されます。

＜国体準備室関係＞

5月8日、「秋田わか杉国体」アーチェリー競技の補助員講習会が、阿仁河川公園を会場に協会関係者25人参加のもと実施されました。

5月9日、国体・障害者スポーツ大会事務局調整・施設担当者2名による、森吉山スキー場縦走特設コース及び特設アーチェリー競技場の現状視察を実施いたしました。

5月10日、秋田県山岳連盟と地元山岳連盟との協議会を開催し、競技運営の確認や国体コース整備について打合わせを実施いたしました。

5月23日、秋田わか杉国体・第32回東北総合体育大会山岳競技専門委員会を森吉支所において開催し、縦走コースの整備計画、縦走及びクライミング競技のスケジュール等について協議いたしました。